

令和4年度事業報告書		事業所名	特養しおかぜ	作成者	草野 裕子	作成日	R5.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 笑顔をつくる あきらめない介護・考える介護 チーム力の向上					
		(評価) 目標や必要性は理解しているが、浸透や言動は伴っていない部分が多い					
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画) 稼働率 98% ①正しく優しい言葉遣い ②謙虚な姿勢 ③相手を認める ④持ち上げない介護						
	(評価) 稼働率:年間97.8% 入院者が多い月、退所が重なった月に利用率が低下・入所の声をかけても断られることもあり、入所までに時間がかかることもあった。面接済みの待機者確保が課題。						
	①言葉遣いに関しては、必要性の理解はしているが、対職員、対利用者様ともに改善の余地あり。引き続き、取り組んでいく。						
	②誰に対しても謙虚な姿勢で接し、意見に耳を傾けていくことを伝えるも、その時には一時的に理解するが、業務の中では自分の思いや気持ちの方が強くなっている場面が多く見られた。						
	③仕事の大切なパートナーとして、相手を認めて、自分も認めてもらって建設的な話をしていくことを目標にしていたが、できていることもあるが、一部に留まっており、建設的な話し合いには至らないことも多かった。						
	④持ち上げない介護 フレックスボードの使用は、浸透している。移乗用シートも使用者は増えている。						
	座席で使用するボードに関しては、まだ使いこなせていない。今後も継続して取り組んでいく。						
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績					
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		ユニットリーダー研修	宇恵裕子/佐々木和美	リスクマネジメント研修 新任	喜田魁斗/田中滋夫		
		ユニットケア管理者研修	草野裕子	リスクマネジメント研修 総合	長戸久恵		
		認知症介護実践研修	槇尾晴樹/奥野真衣	相談課研修	参加なし		
		認知症介護基礎研修	横田拓海	看護課研修	特定給食施設/栄養管理		
		看取りケア研修	参加なし	看護課研修	参加なし		
		認知症の人とのかかわり方	池井毅/大中翔吾	認知症になっても美味しく食べたい	浅野円香/安居利江/栄養士3名		
		今年度は、対面研修・オンライン研修と両方の開催があり、参加できる研修の幅が広がったように思う。ユニットケアの研修はオンラインでもグループワークがあり、他施設の方と意見交換ができて良い刺激になった。オンライン研修を含めると選択肢が広がるため、より計画的に参加日程、参加者の選定を進めていく必要があると感じた。どの研修も受講直後は、業務の中で生かしていく意識を持っているが、時間とともに薄れてしまうため、学んだことを他者に伝えて業務に反映させていくことが課題。					
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		特養事業部会議	月1回開催。報告が多いため積極的な検討・討論の場にした。	看取りケア委員会	月1回開催。振り返りカンファの方法、業務への生かし方を検討中。		
		介護主任会議	偶数月と必要時に追加。特養全館を視野に入れた検討が必要	事故予防/身体拘束/虐待防止委員会	月1回開催。虐待チェックリストの運用が不透明。事故検証実施。		
		フロア会議	月1回開催。改善に向けた検討ができる会議の場にしていきたい	介護技術向上/褥瘡予防委員会	月1回開催。食事介助のマニュアルを作成。褥瘡は報告のみ。		
		相談課会議	月1回開催。報告が主のため課としてどうするかを検討していく。	感染症対策委員会	月1回開催。感染時マニュアル作成。シミュレーション訓練の実施。		
		看護課会議	月1回開催。報告が主のため課としての判断を検討する必要がある	認知症ケア委員会	月1回開催。認知症本人の気持ちをj知るを目標に勉強会を実施。		
		給食会議	月1回開催。議題がいつも同じため新たな取り組みにも期待したい	全体行事委員会	月1回開催。感染状況に合わせて変更しながら実施した。		
		栄養会議	1月より月1回開催。協力体制を構築し新たな取り組みを検討する	安全衛生委員会	月1回開催。職員の健康につながる研修や取り組みを実施。		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	9月	9月20日	夜間想定消火・避難訓練	火元の特定はすぐにはできるようになってきた。避難時にお互いの声掛けが不足しているため、指示役がしっかり声を出す必要がある。宿直者の動きの検討も課題。
	3月	3月24日	日中想定地震・消火・避難訓練	火元が特定できていない人もいた。特定職員のみ訓練に参加するため、参加者が限られてしまう。日中想定時は多くの職員が参加できる方法を検討していく。

行事・イベント	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
	月度	
4月		
5月	法令遵守(5月24日)	こども園交流会(5月13日)・
6月	食中毒・嘔吐処理キットの使い方・个人防护具の着脱について(6月13日・23日)	バイキング(6月17日) ユニット:バーベキュー・外出
7月	ユニットリーダー内部研修 アサーティブコミュニケーション(7月14日) 褥瘡プラン作成について(7月15日・26日)	こども園交流会(7月20日) ユニット:七夕会・そうめん会・うなぎ弁当
8月		
9月	ユニットリーダー内部研修 ストレスマネジメント(9月20日)	ユニット:敬老会
10月	インフルエンザ・コロナ感染症シミュレーション(10月18日・27日) 認知症の人が感じている「世界」を理解するために(10月25日・11月4日)	こども園交流会(10月4日) 秋祭り(10月23日) ユニット:焼き芋
11月	看取りの指針について(11月11日・16日) ポジショニングについて(11月14日・29日)	バス旅行(11月7日) 焼き芋
12月		餅つき(12月18日) ユニット:クリスマス会・忘年会
1月	エンゼルケアについて(1月11日・20日) 身体にやさしい捕食のすすめ(1月24日) 感染シミュレーション訓練(1月25日)	ユニット:新年会 おでん作り
2月	羞恥心・事件事例検討(2月10日・2月22日) ステップアップ研修(1月30日・2月17日)	大鍋会(2月19日) ユニット:節分会
3月	認知症の世界を知る(3月6日・10日) 外部研修報告会(3月23日)	

(総評)コロナ禍ではあるが、内部研修や行事は可能な限り実施した。こども園交流会も実現し、利用者様の普段見られない表情も観ることができ、今後も継続していきたい。内部研修はパート職員も参加できるように14:00と16:00に実施。参加者数は大きく変わらなかったが、パート職員の参加は増えたため、令和5年度も引き続き14:00と16:00で開催していく。

令和4年度は、チーム力の向上を目指していたが、個で動くことが多く、どの課も課としての方向性にバラツキが見られた。また、感情で話をすることも多く前向きな検討はあまりできなかった。会議等が生きたものになるよう、何のための会議なのか、会議に臨む姿勢なども伝えていく必要性を感じた。またチーム力の向上に向けて、各課としての考え方、方向性を一致させておくことも課題である。令和4年度は、職員の入れ替わりやコロナ感染症のクラスターの発生など不安になる出来事が多く、全体的に不安定で前向きとは言えなかったが、その状況下でも前を向いて頑張ろうとする職員や新人職員の育成に協力的な職員は以前に比べると増えたように思う。時代とともに利用者様の求める物や介護の考え方、技術も変化していくので、現状維持ではなく求められる役割を理解し、前向きに取り組める組織にしていきたい。